

市民病院だより

リハビリ科の作業療法について

作業療法士 保健学博士

縄手 雪恵

着替え、トイレ、家事、仕事、余暇、地域活動）を意味します。

当院リハビリテーション科では4月から作業療法部門を開設しました。

現在、理学療法士5人、作業療法士1人、助手1人の6人が在籍しています。

作業療法とは

作業療法は、「身体又は精神に障がいのある者、またはそれが予測される者に対し、その主体的な生活の獲得を図るため、諸機能の回復、維持及び開発を促す作業活動を用いて、治療、指導及び援助を行うこと。（一般社団法人 日本作業療法士協会、1985）」と定義されています。作業とは手作業を意味するだけでなく、日常生活に関わるすべての活動（食事、入浴、洗面、

作業療法の目的

作業療法の目的は、次の3つの能力を維持・改善することです。

1. 基本能力
（運動機能・精神機能）
2. 応用能力
（食事やトイレなど生活で行われている活動）
3. 社会生活適応能力
（地域活動への参加・就労就学の準備）

また、環境（人的環境・物理的環境）の調整、社会資源や諸制度の活用を促します。これらは作業活動を通して行われ、最終目標はその人らしい生活が送れるようになることです。

作業療法の対象者

当院では、脳出血・脳梗塞などの脳血管疾患や、骨折後などの整形外科疾患、内科疾患・呼吸器疾患・循環器疾患・外科手術後の全身状態が低下している（廃用症候群）方などを対象としています。

また、生活に障害がある場合やそれが予測される場合には作業療法の対象となります。

さらに、右記疾患で入院された患者さんは高齢者が多く、入院による認知機能の低下を防止するための作業療法や認知症に対する作業療法も行っています。

作業療法の内容

退院後の生活を想定し、患者さんの目標に合わせた訓練を行います。

- 関節の動きを良くする訓練
- トイレ時や入浴時の動作訓練
- 箸を使って食事など日常生活に必要な動作訓練
- 塗り絵、ゴルフのパターなど趣味を取り入れた訓練
- 摂食・嚥下のリハビリテーションなど



作業療法風景



家事動作の訓練（調理動作）

※写真は患者さんの同意を得て掲載しています。

早期の在宅復帰を目指し、患者さんを中心にご家族や関係職種などと情報を共有し、病院からより良い在宅生活へつなげていけるよう、また、安心して退院後の生活が送れるように支援していきます。また、地域の病院として他の医療機関、施設と連携をとり、市民の皆さんに良質なサービスが提供できるよう努力していきます。

※作業療法を希望の方は、医師による診察が必要です。医師が作業療法を必要だと判断し、処方が出た場合に実施可能となります。

お知らせ

9月より婦人科診療が拡充しました。

毎週月曜日の午前・午後女性医師が診療を行います。よろしくお願ひします。



【問合せ】 小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>